

# 中国株ウィークリーレポート

2019/5/13

## 【指数日足チャート】

### ▼ハンセン指数



### ▼上海総合指数



## 【主要株価指数】

|                | 週末終値      | 前日比    | 変化率 (%) | 週間騰落率 (%) | 年初来騰落率 (%) | 18年末株価    |
|----------------|-----------|--------|---------|-----------|------------|-----------|
| NYダウ           | 25,942.37 | 114.01 | 0.44    | -2.12     | 11.21      | 23,327.46 |
| NASDAQ         | 7,916.94  | 6.35   | 0.08    | -3.03     | 19.32      | 6,635.28  |
| 日経225          | 21,344.92 | -57.21 | -0.27   | -4.11     | 6.65       | 20,014.77 |
| 上海総合           | 2,939.21  | 88.26  | 3.10    | -4.52     | 17.86      | 2,493.90  |
| 滬深300 (CSI300) | 3,730.45  | 130.75 | 3.63    | -4.67     | 23.91      | 3,010.65  |
| ハンセン           | 28,550.24 | 239.17 | 0.84    | -5.09     | 10.46      | 25,845.70 |
| 中国企業           | 10,931.05 | 85.99  | 0.79    | -5.56     | 7.96       | 10,124.75 |

## 【株式概況】

### 先週の動き:ハンセン指数は5.1%安と大幅反落、上海総合指数4.5%安

香港市場ではハンセン指数が5.1%安と大幅に反落した。トランプ米大統領が対中制裁関税の引き上げを発表したことで地合いが悪化。ハンセン指数は9日に29000ポイントを割り込み、約2カ月ぶり安値をつけた。ただ、週末10日には電話による米中首脳会談開催の可能性が伝わると買い戻しが入り、やや持ち直す展開となった。本土市場では上海総合指数が週間で4.5%安と大幅に3週続落。9日に約2カ月半ぶり安値をつけたが、10日には米中摩擦緩和への期待や政府系資金による買い支え観測で大幅反発した。

### 今週の展望:香港市場は4日間の取引、米中摩擦巡る思惑で荒い値動きに

香港市場は13日には仏誕節で休場のため4日間の取引。第3弾の対中制裁関税が10日に引き上げられたのに続き、13日に第4弾の詳細が発表される。中国側も対抗措置を発表する見通しで、米中摩擦激化への警戒感が高まりやすい。一方で当局者からポジティブな発言が出てくれば急反発の可能性もあり、米中摩擦を巡る思惑で荒い値動きとなりそうだ。本土市場も摩擦激化への警戒感と当局の景気対策・相場対策への期待で荒い展開が予想される。15日に発表予定の4月の主要経済指標にも警戒が必要になりそうだ。

## 先週のハンセン騰落ランキング

### ▼騰落率上位

|                     | 週末終値 (HK\$) | 騰落率 (%) |
|---------------------|-------------|---------|
| 1 電能実業(00006)       | 55.75       | 1.18    |
| 2 ホンコン・ファイガス(00003) | 18.72       | -1.16   |
| 3 中国海外発展(00688)     | 28.90       | -1.37   |
| 4 恒基兆業地産(00012)     | 47.55       | -1.45   |
| 5 テンセント(00700)      | 382.00      | -1.50   |
| 6 中国旺旺(00151)       | 6.17        | -1.91   |
| 7 長江インフラ(01038)     | 62.70       | -2.11   |
| 8 中電控股(00002)       | 87.55       | -2.12   |
| 9 CNOOC(00883)      | 13.38       | -2.19   |
| 10 新鴻基地産(00016)     | 134.00      | -2.26   |

### ▼騰落率下位

|                  | 週末終値 (HK\$) | 騰落率 (%) |
|------------------|-------------|---------|
| 1 万洲国際(00288)    | 7.70        | -15.01  |
| 2 創科実業(00669)    | 52.30       | -13.34  |
| 3 中国人寿保険(02628)  | 19.56       | -12.29  |
| 4 吉利汽車(00175)    | 13.78       | -12.23  |
| 5 瑞声科技(02018)    | 46.90       | -11.51  |
| 6 香港証券取引所(00388) | 252.00      | -9.42   |
| 7 銀河娛樂(00027)    | 54.35       | -9.34   |
| 8 石薬集団(01093)    | 13.84       | -9.07   |
| 9 中銀香港(02388)    | 32.95       | -8.09   |
| 10 中国建設銀行(00939) | 6.47        | -7.44   |

## ▼今週の主なイベント

- 5月13日(月)
- 【香港】仏誕節で休場
- 【米国】対中制裁関税第4弾の詳細発表
- 5月15日(水)
- 【中国】小売売上高、鉱工業生産(4月)、固定資産投資(1-4月)

### ▼今週の期待材料

- ◆米中閣僚級通商協議について米国側は「建設的だった」と評価、決裂避けて協議の継続も確認
- ◆トランプ大統領が習近平国家主席との電話会談の可能性を示唆、トップ同士での決着に可能性を残す
- ◆相場下落局面では中国政府系資金による買い支え期待が高まる公算、中国政府が景気対策を打ち出す可能性も

### ▼今週の懸念材料

- ◆米国が予定通り10日から対中制裁関税を引き上げ、中国側も対抗措置発表で貿易摩擦がエスカレートへ
- ◆米側が対中制裁関税第4弾の詳細を13日に発表、残りの3250億米ドル分に25%の制裁関税を課す方針
- ◆15日に4月の中国の主要経済指標が発表に、市場予想下回る弱い内容なら景気の先行き不安が高まる公算

## 【今週の材料銘柄】 ☆…ポジティブ ★…ネガティブ ◇…中立

- ☆ 華潤ビール (00291) : 中国企業指数構成銘柄に新規採用が決定、6月17日付で発効
- ☆ 裕元工業 (00551) : 4月の純売上高が3%増加、1-4月は7%増
- ☆ 安踏体育用品 (02020) : 中国企業指数構成銘柄に6月17日から新規採用
- ☆ 富智康集団 (02038) : 1-3月期の継続事業損益は6900万米ドルの赤字、赤字半減
- ☆ キングソフト (03888) : 14日に1-3月期決算を発表、市場予想は純利益2倍
- ★ 深セン控股 (00604) : レッドチップ指数構成銘柄から6月17日付で除外が決定
- ★ テンセント (00700) : 15日に1-3月期決算を発表、市場予想は14%減益
- ★ 中国国際航空 (00753) : 中国企業指数構成銘柄の除外が決定、6月17日付で発効
- ★ 華能国際電力 (00902) : 中国企業指数構成銘柄から6月17日付で除外が決定
- ★ 瑞声科技 (02018) : 17日に1-3月期決算を発表、市場予想は67%の大幅減益

本レポートは、株式会社 DZH フィナンシャルリサーチ（以下、「DZH」と称します）により作成されたものです。

本レポートは、DZH が信頼できると判断した各種データ、公開情報に基づいて作成しておりますが、DZH はその正確性、完全性を保証するものではありません。

ここに示したすべての内容は、DZH で入手しえた資料に基づく現時点での判断を示しているに過ぎません。

DZH は、本レポート中の情報を合理的な範囲で更新するようにはしておりますが、法令上の理由などにより、これができない場合があります。

本レポートは、お客様への情報提供のみを目的としたものであり、特定の金融商品の売買あるいは特定の金融商品取引の勧誘を目的としたものではありません。

また、本レポートによる情報提供は、投資等に関するアドバイスを含んでおりません。

本レポートにおいて言及されている投資やサービスは、個々のお客様の特定の投資目的、財務状況、もしくは要望を考慮したものではありませんので、個々のお客様に適切なものであるとは限りません。

本レポートで直接あるいは間接に取り上げられている金融商品は、株価の変動や、発行者の経営・財務状況の変化及びそれらに関する外部評価の変化、金利・為替の変動などにより投資元本を割り込むリスクがありますが、DZH は一切その責任を負いません。

DZH は、レポートを提供している証券会社との契約に基づき対価を得ております。

DZH およびグループ会社は、本レポートの論旨と一致しないレポートを発行している場合があります。また今後そのようなレポートを発行する場合があります。

DZH、グループ会社およびその役職員は、本レポートに記載された金融商品について、ポジションを保有している場合があります。

本レポートでインターネットのアドレス等を記載している場合がありますが、DZH 自身のアドレスが記載されている場合を除き、ウェブサイト等の内容について DZH は一切責任を負いません。

本レポートの利用に際しては、お客様ご自身でリスク等についてご判断くださいますようお願い申し上げます。

<日本証券業協会自主規制規則「アナリスト・レポートの取扱い等に関する規則平 14.1.25」に基づく告知事項>

本レポートの作成者であるアナリストと対象会社との間に重大な利益相反関係はありません。